

小野寺保夫

演題

[最新CAD/CAMシステムと歯科技工のかかわり]

講演抄録

近年、歯科補綴臨床において、鋳造による補綴物がCAD/CAMシステムの出現によって、今まで扱えなかった材料を加工できるようになり、補綴物の多様化が急速に進んでいます。昨年CAD/CAMシステムで製作したハイブリット冠が保険適用となり、更にCAD/CAM化が加速する兆しが見えています。そこで今回は最新のCAD/CAMシステムの3Dプリンターやレーザーミリングを紹介するとともに、日本のCAD/CAMの現状をお示ししたいと考えています。